



# 麻生多摩美の森だより

62

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえざり公園一  
麻生多摩美の森の会広報紙第 62 号 2021 年 7 月 28 日発行  
発行人：会長 田中 肇 編集者：伊勢谷 能宣

麻生多摩美の森の会

検索



## 心に残る森の「七夕祭」 須田 和順



「七夕祭」運営スタッフメンバー。中止になった日の記念写真だが、みんな笑顔で溢れている。

多摩美の山・健康の森で、初めて「七夕祭」を開催したのは、2018 年だった。「みどり豊かな山の上から、星に願いを伝えたい」それが始まりだった。「麻生健康の森」に、飲食コーナーが並び、訪れた人々は、5色の短冊に思い思いの願いを書き、吹き流し、網飾り、ちょうちん、紙衣や鶴をはじめ様々な折り紙を作って5本の竹に飾り付けた。集まった人たちのためにと、アーティストが駆けつけて、素敵な音楽の祭典と化し、風船細工や紙芝居も登場。100人を超える、子どもから、お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさんの笑顔が森に溢れた。素敵な竹飾りは、1週間ほど、7月7日まで森に飾られた。「是非またやってください」の声が届き、何軒かのお店からも「お客さまに短冊を書いてもらって、多摩美の山に飾っていただきたい」との要望が寄せられた。気を良くして、翌年も計画。しかし、意地悪な

お天気によって中止。去年は、コロナ渦（あえて渦とした）のため開催を断念。そして今年、若いお母さんたちが中心となって、新たに計画され、準備が進められた。ところがこれまた、前日からの「大雨警報」の予報で延期。6月下旬～7月始めというのは、当然のように「梅雨」の真ただ中、晴れ日が珍しい。残念ながら、準備スタッフが書いた短冊と、有志が作った飾りで2本の竹を立てて終わった。多摩美の森の会が協力、川崎・多摩美の山トラストの会が主催して約10年続く、秋の「森展」の一環として開催された「七夕祭」は、新体制のもと、この先も、森の愛されるイベントとして、様々な可能性を秘めて定着するに違いない。子どもたちの心に残る催し、森を楽しみ、これからの里山の在り方を見つけていただければ嬉しい。情報は、FaceBook:森展 Instagram:@moriten\_tamami

## 多摩美の森の一日

多摩美の森の会では、第一土曜と第三土曜の月2回、メンバーが集まって作業をしています。

まずはみんなで体操からスタート。2時間の作業でケガをしないよう念入りに身体をほぐします。



体操のあとは、それぞれの作業に入ります。



子供たちと里芋の植え付けをしたり…、



枯れ木の剪定を行ったり…、



そしてまったりと20分?程度の休憩時間に入ります。みなさん談笑したり、お茶を飲んだり…。



コロナ禍前はお菓子などもありましたが、今はみんな控えています。



そして作業を再開した後、その日に収穫があればみんなで山分けします！



写真は秋に収穫した巨大シイタケ、熟れ熟れの柿！それにオニグルミです。



そして春先に収穫した、川崎地産野菜のらぼう菜！苦みもなくお子さんでも食べやすいです。菜の花よりも美味しいという意見も！

多摩美の森の会はどなたでもご参加可能です。飛び入りもOKですので、気軽にご参加ください！

## 今までを振り返って

椿 颯一郎



現在は小学校5年生。最年少会員として奮闘中。

僕が森の会に入会して二年八か月経った。最初は熊手で落ち葉を掃除したのをなんとなく覚えている。当時小学二年生、学校の学習でこの会にインタビューをさせていただいたのをきっかけに入会した。去年、コロナという災禍に見舞われ、作業が一時出来なくなったり、七夕祭、森展、植樹祭・収穫祭が中止になったりしたが、そのことを忘れさせてくれるほど作業は楽しい。まず、色々と勉強になる。内容は畑仕事や草刈り、最近では鳥の巣箱を作ったり看板を書いたり普段の生活では体験できない事が出来るし、難しくて自分ではできないことでも、見る事で勉強になる。次に、皆さんとてもやさしい。わからないことでも教えてくださったり、面白い話を聞かせてくださったり、僕にとっては交流会のような存在にもなっているのかもしれない。それに実は僕、虫が苦手なのだ。最近は蝶やトカゲを遠くから見る位なら大丈夫になったが、少しは耐性がついたのだろうか…それでもまだ触るのは無理だ。

こうして今までを振り返ってみると、森の会の皆さんのおかげで、自然の中の作業などをとても楽しめていることを感じた。いつまで続けられるかは分からないが、今を精一杯楽しもうと思う。

## 森の恵み

田中 肇

森の中で新緑や花、畑の作物、等の自然の恵みを受ける。気温が高くなるこの時期になると毎年必ず目にするのが迷惑ものの「オオブタクサ」。外来植物で2メートル以上にもなる強敵。根っこから除去しても、次の作業日には発芽して立ち上がるのを繰り返す。これも森の恵みと捉えて活用することを考えた。新鮮なものを入手するため自ら茂みに入る。まだ1m弱ぐらいのものを抱える程度収穫。茎は不要。葉のみ自宅へ持ち帰った。



ポーポーのオオブタクサ！

鍋で煮るとその量に応じた濃さの緑色の液体が現れた。白い木綿のハンカチを用意。鍋、等の道具も金属ゴミを再利用。早速、ハンカチをつけ込み、色の定着に必要な媒染液に浸すと、なんともいえない淡い緑色のできあがり。強敵の染めたハンカチで汗をぬぐうことになるとは思いつかなかった。



高級感ただよ、既製品のような風合い。

## 多摩美の森<夏>



青々しく実る、栗とオニグルミ。  
秋の収穫が待ち遠しい。



## 【今後の予定】

8/7(土)	幹事会、畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
8/15(日)	畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
9/4(土)	幹事会、畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
9/5(日)	7区交流会 ～川崎市公園緑地協会会議室～
9/19(日)	畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
10/2(土)	幹事会、畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
10/17(日)	畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
11/6(土)	幹事会、畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃
11/21(日)	畑の手入れ、野原の草刈、ゴミ清掃

## 新規会員が増えています！

毎月<第一土曜>と<第三日曜>9～11時、多摩美の森で活動を行っています。※10月～5月は10～12時  
見学、飛び入り参加大歓迎！里山の楽しさを親子で味わってください！（年会費：1,000円）



2021年4月入会

小田桐 浩さん

「みどりの会」と兼務。  
おなじみの小田桐さんが  
正規会員になりました！



2021年5月入会

中家 緑さん

香林寺の体操仲間、井上  
さんに誘われて入会しま  
した！



2021年6月入会

スミ ナツコさん

本業はグラフィックデザ  
イナー。「森展の会」にも  
参加。



2021年7月入会

森山 来妙さん

絵本と音楽を愛する森  
山さん。「森展の会」に  
も参加。

お問合せ：田中 肇<070-4468-7195 hajimeta@nth.biglobe.ne.jp> <http://web-asao.jp/hp2/tamami/>